

新生徒会の発足

～新しい組織 伝統の継承～

10月1日に新生徒会本部役員8名を決めるための立会い演説会が行われました。また、12日には、各委員会の全校委員長さん8名を決める選挙も行われ、北部中を牽引していくリーダーが選出されました。立候補した生徒は、皆しっかりと公約を掲げ全校生徒に「頑張りたい」という非常に前向きな演説をしていました。次代を担うリーダーとして非常に頼もしく感じられました。新生徒会長になった丹治君からは、活動に対する思いを「前力 全力 善力」という言葉で表現し、様々な活動が制限されている状況であっても全校が協力して着実に前に進んでいこうと決意が語られました。



芸術鑑賞教室

今年の芸術鑑賞教室は、「子どものためのクラシックコンサート」と題し、千葉交響楽団をお招きして実施しました。例年ならば、保護者の皆様にも鑑賞していただいている行事ですが、生徒のみの参加とさせていただきます。プログラム内容も、通常は楽器の体験等がありますが、安全を考慮し、変更をしながらの実施となりました。それでも芸術鑑賞教室の「子ども達に本物の芸術を体験させたい」というねらいは、ある程度達成できたと思います。様々な行事を制限せざるを得ない状況ではありますが、できる限りの学びや体験を模索していきたいと考えています。



環境教育

～落語 理科特別授業 ヒラメの養殖を通して～

環境教育と落語。一見関係なさそうな両者ですが、2年生では、環境に関する学習を落語を聞きながら行いました。冒頭「2050年、まぐろが食べられなくなる(?) かもしれない」から始まり、本物の落語家さんが話しを作ってくれました。海洋問題を中心に「海水温の上昇」「マイクロプラスチック」などの難しそうな単語が出てきました。落語を聞いた後は、しっかり解説を加えていただき、わかりやすく説明していただきました。また、3年生では、理科の特別授業ということで魚の骨格標本を作るための魚の解剖などを行いました。約90分という大学生並みの授業でしたが、3年生は真剣な顔つきで一人一匹の魚と向き合っていました。さらに科学部では、現在理科室でヒラメの養殖に取り組んでいます。水槽づくりから始まり、海水づくり、エサやり、清掃など日々の活動の中で「いのち」と向き合っています。

8cmほどの稚魚を5匹ずつ水槽に入れ世話をしています。来年3月には、うまくいけば30cm程の立派なヒラメに成長する予定です。

生徒たちには、自分たちが大人になったときに現実のこととして向き合うことになる課題に今から関心を持ってもらえればと願っています。これらの取り組みは、日本養殖振興会の先生方のご協力により進んでいます。今後も継続して指導していただく予定です。



11月の主な予定

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 11 / 2日 (月) 1・2年生教育相談開始 | 9日 (月) 3年生確認テスト (～10日) |
| 4日 (水) 冬季トレーニング開始 | 12日 (木) 3年生期末テスト (～13日) |
| 5日 (木) 流星祭 | 17日 (火) 1・2年生期末テスト (～18日) |
| 1・2年生球技大会 | 19日 (木) 1・2年生スクールロイヤーによる授業 |
| 3年生合唱コンクール | |

